

10分でわかる

# 社会・経済のうごき@しんぶん.yomu

知っておきたい日本経済トピックスを新聞から抜粋しました。(公社)長井法人会(TEL88-3960 FAX88-3823)

## 1—3月期、GDP年率で3.5%増

内閣府は今年1～3月期の国内総生産（GDP）が物価変動を除く実質で前期比0.9%増加し、年率換算では3.5%増となったと発表した。経済再生担当相は「安倍内閣による異次元の政策投入による、異次元の景気回復への歩みが始まった」とし、アベノミクス効果が数字に出たことを強調した。1～3月期は個人消費を中心に内需が拡大し、輸出も自動車を中心に堅調だった。

## 消費税転嫁法案が衆院で成立

消費税転嫁法案が衆院本会議で成立した。同法案は消費税増税に際し、中小企業が消費税の価格転嫁が大企業から拒否され「下請けいじめ」を防ぐとともに、「増税分は消費者に還元」とする表現のセールの禁止などを盛り込んでいる。とくに、表現の禁止対象については「消費税との関連を明示しているもの」と規定し、今後、消費者庁が運用指針を策定するとしている。

## 中国、大学に「7つの禁句」を指示

香港各紙の報道によると、中国当局がこのほど大学に対して「7つの禁句」を授業などで使わないことを指示したことが明らかになった。7つの禁句は、自由・人権を意味する「普遍的価値」、「報道の自由」、「公民社会」、「公民の権利」、「共産党の歴史的誤り」、「司法の独立」、権力と資本が癒着したことを示す「権貴資本主義」である。中国の新指導部が言論・思想統制の強化を始めたものとみられるが、現場の大学では「これで大学といえるのか」と反発が上がっている。

## 5人に1人が「不本意」で非正規社員に

総務省の労働力調査によると、非正規労働者のうち348万人が正社員の仕事がないために「不本意」で非正規の仕事をしていることが分かった。1870万人の非正規労働者数の19.9%となる。不本意型での非正規就労を男女別にみると、男性が31.1%と高く、女性は14.8%と2倍以上の開きがあった。また、自分から、「都合のよい時間に働きたい」「家事や育児などと両立できる」として非正規を選んだ人は女性が男性を上回った。

## 社保加入の建設労働者は58%どまり

国土交通省は、昨年10月時点での建設労働者が雇用保険・健康保険・厚生年金の3種の社会保険に全て加入している建設労働者は58%にとどまっていると発表した。同省は2017年までに3保険の加入率を90%とする目標を掲げており、同省では「営業許可の更新時に加入状況を確認するなど未加入対策を強化していく」としている。

## 上場企業の女性管理職数を公表

内閣府は全上場企業の女性管理職の登用状況を2013年度からホームページで公表することを明らかにした。森男女共同参画担当相は「女性管理職がいることで女性職員が働きやすく、育児休業制度が使いやすくなる」としたうえで、「仕事と家庭の両立支援を進めていく」と話した。企業側の取り組みでは、イオンが管理職全体に占める女性の割合を現状の7%から2020年をめどに50%に高めるとしている。

## 深刻な若者の失業、世界で7300万人

国際労働機関（ILO）のまとめによると、世界の若年層（15～24歳）の失業者数は2013年見込みで約7300万人に達する。失業率は全年齢の6.0%を大きく上回る12.6%で、同機関では2018年までは12%台の高止まりで推移すると予測している。若者の高い失業率は、企業のコスト削減によるもので構造的な要因としている。

## 現役社員を続けるには「人間性が大事」

研修会社のジェイックが本年度入社の新入社員を対象にした調査で、「65歳まで現役で働くために一番大切だと思う力は何か」との質問（複数回答）に対して、「社内や顧客から信頼される人間性」が最多の27%だった。次いで、「働くための健康・体力」（24%）、「変化に対応できる柔軟性」（18%）だった。同社では「社内教育では、どう人間性を磨くかが、若手を組織に定着させ、活躍させる鍵ではないか」と分析している。